クレメントイン今治BIM実行計画書

ver1.0

2021-08-04

目次

1.目的・定義

1.1本計画書の目的

1.2ワンモデルの定義

1.3本計画書の運用

2.プロジェクト概要

2.1プロジェクト概要

2.2 BOXアップロードファイル

2.3プロジェクト関係者

2.4プロジェクトスケジュール

2.5会議体/マイルストーン

3.実施内容

3.1実施設計における実施内容

3.2施工期間における実施内容

3.3その他の取組

4.プロジェクト設定

4.1使用するソフトウエア

4.2プロジェクト基点

4.3内部基準点

4.4モデリングの区分

4.5ワークセットの設定

5.補足

5.1計画書の変更

5.2改定履歴

1. 目的・定義

1.1本計画書の目的

本実行計画書はクレメントイン今治の見積打合せから竣工までのBIMの実施内容について共通の目標を設定し、関係者の責任を定めどのような手順で作業を進めるか枠組みを示すことを目的とし、共通の指針として運用する。

1.2ワンモデルの定義

　概算見積図（構造図を基本とした各図面）をiPDセンターにてモデル整備。後に精算見積段階もしくは確認申請段階に移行した時点で意匠図や設備図と統合・ワンモデル化する。

1.3本計画書の運用

本計画書はプロジェクト関係者の合意に基づき作成し、本プロジェクトに適用する。

2.プロジェクト概要

2.1プロジェクト概要

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名 | クレメントイン今治 |
| 発注者 | ＪＲ四国 |
| 住所 | 愛媛県今治市北宝来町甲２丁目７７３－７ |
| 用途/棟数/階数 | ホテル//B0F 8F |
| 延床面積 | 2690 |

2.2BOXアップロードファイル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日付 | アップロードされたファイル | 改定者 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

2.3プロジェクト関係者

| 部門 | 略号 | 組織名 | 担当者 |
| --- | --- | --- | --- |
| 建築設計 | A | 大林組 | 楠友介 |
| 構造設計 | S | 大林組 | 塩津康弘 |
| 設備設計：空調衛生 | M | 大林組 | 小川智男 |
| 設備設計：電機 | E | 西嶋健郎 | 西嶋健郎 |
| 施工 | C | 大林組 | 川浪亮一 |
| 生産設計 | CD |  |  |
| 工事部 | K | 建築工事部 | 越智栄三郎 |
| 生産技術 | CE |  | ・ |
| 積算見積 | Q |  |  |
| BIMマネジメント課 | BM | 大林組 | 岡本忠伸 |
| PDセンター | P | 竹内澄人 | 大林組 |
| モデル作成 | MO |  |  |
| サブコン：空調衛生 | SC |  |  |
| サブコン：電気 | SCE |  |  |
| FAB：作図 | F |  |  |
| FAB：製作 | FAB |  |  |

2.4プロジェクトスケジュール

| フェーズ | 開始予定日 | 終了予定日 | 備考 |
| --- | --- | --- | --- |
| 設計モデル作成 |  |  |  |
| 確認申請 |  |  |  |
| 精算見積モデル統合・追記修正 |  |  |  |
| 工事事務所従事者決定 |  |  |  |
| 現場工程表決定 |  |  |  |
| 施工 | 20200901 | 20210707 |  |
| 引渡し |  |  |  |

2.5会議体/マイルストーン

| 会議名 | 招集 | フェーズ | 出席者 | 頻度 | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| BIMキックオフ会議 | P,BM | 施工前 | All | 1回 | 未定 |
| 現場BIMキックオフ会議 | P,BM  C,CD | 施工 | All | 1回 | 未定 |
| 現場BIM定例 | P,BM  C,CD | 施工 | 適時 | 適時 | 未定 |

3.実施内容

3.1実施設計における実施内容

| 実施目的 | 実施内容 | 担当 |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

3.2施工期間における実施内容

| 実施目的 | 実施内容 | 担当 |
| --- | --- | --- |
| 躯体図と平面詳細図のBIMモデルからの切り出し・維持 | 設計図書を基にモデルを作成し、生産設計に引き継ぎ、維持管理を行う。 | (P,MO)  BM,C,CD |
|  |  |  |
|  |  |  |

3.3その他の取組（状況に応じて実施）

・

4. プロジェクト設定

4.1使用するソフトウエア

　各部門で使用するソフトは下記の通りとする。

| 部門 | ソフト名 |
| --- | --- |
| 建築設計 |  |
| 構造設計 |  |
| 設備設計：空調衛生 |  |
| 設備設計：電気 |  |
| ワンモデル |  |
| 施工 |  |
| 生産設計 |  |
| サブコン（施工）：空調衛生 |  |
| サブコン（施工）：電気 |  |
| FAB：作図 |  |
| FAB：製作 |  |

4.2プロジェクト基点

4.3内部基準点

　プロジェクト基準点と内部基準点は異なるものである。プロジェクト基準点は移動可能であるが、内部基準点はRevitが持っているもともとの基準点なので動かすことができず、プロジェクト基準点のクリップを外して移動した後、右クリックで「開始位置に移動」をするとこの内部基準点に戻ってくる。

　内部基準点は設備のIFCといった他ファイルとの統合時に使用するので、非常に重要となるため、本プロジェクトでは内部基準点にそれを示す立方体の箱を点景カテゴリで内部基準のサブカテゴリを充てて入力している。

　なお、本プロジェクトにおいてはプロジェクト基準点＝内部基準点とし、図面上のA通りと1通りの交点である。

4.4モデリングの区分

~~本プロジェクトでは、分野を超えた協動モデルを作成する。建築設計と構造設計の作成し、生産設計へ引渡を行うRevitモデルのファイル構成はワンファイルとし、作業領域の管理は原則としてワークセットを用いる。ワークセットのみで作業領域を分割できない部位については、作業の競合を防止ため、別途定めるモデリング分担表にて管理を行う。~~

4.5ワークセットの設定

~~意匠、構造、SS（生産設計）、柱芯（図面に出したくない通り芯を入れるワークセット）~~

5.補足

5.1計画書の変更

　本実行計画書の内容を改定する必要が生じた場合は、BIM担当者が協議して文章改定を決定し、改定内をプロジェクト関係者に周知する。

5.2改定履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 版 | 改定日 | 改定内容 | 改定者 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |